

令和7年度第2回 宇治市乳幼児教育・保育推進協議会

日時：令和7年10月23日（木）

18時から

場所：宇治市役所

8階 大会議室

<次第>

- 1 開会
- 2 専門部会からの報告事項に対する検討
 - (1) 保幼小連携専門部会
 - (2) 発達・子育て支援専門部会
- 3 来年度の研究・研修の方向性
- 4 その他
- 5 閉会

<資料>

ページ

① 専門部会からの報告事項に対する検討 関係資料	
ア 保幼小連携専門部会	
○報告書	… 1
○架け橋ブロック一覧 資料1	… 5
○令和7年度架け橋ブロックの取り組みについての報告 資料2	… 6
○保幼小連携の手引き（素案） 別添資料1	
イ 発達・子育て支援専門部会	
○報告書	… 2 1
○専門職による園訪問支援等についての関係資料 資料3	… 2 4
○移行支援シート作成マニュアル（素案） 別添資料2	
② 来年度の研究・研修の方向性 関係資料	
○来年度の研究・研修の方向性	… 2 7
○「今後希望する研究・研修内容」の意見集約 資料4	… 3 0
○乳幼児教育・保育に関する研究事業のイメージ 資料5	… 3 1

＜検討事項＞

- (1) 架け橋ブロック会議の実施状況を踏まえた保幼小連携の進め方等について
- (2) 架け橋カリキュラム作成に向けた手引きについて

＜検討内容＞（部会開催：R7.9.5 出された意見の抜粋とまとめ）

(1) 架け橋ブロック会議の実施状況を踏まえた保幼小連携の進め方等について
＜現状・課題等＞

令和7年6月末までに18ブロック全てにおいて行われた架け橋ブロック会議の結果をセンターから報告

- ・取組みを進めるために予算が必要という意見があった。
- ・交流事業の打合せやカリキュラム作成等において、チームス等のデータ共有システムがあれば、という意見があった。
- ・施設数が多いブロックは日程調整だけでも大変である。
- ・カリキュラム作成については、ハードルが高いと感じられている様子があるが、作成を通じてつながっていきたいと発言されたブロックもあった。
- ・担当になった先生や1年生の先生は意識を持っているが、学校全体に広めることが課題である。

＜改善策等＞

- ・年度の最初の会議を4月の早い段階で行えると、担任の先生も分かり、連絡先の交換もできるので良い。
- ・学校での週案や年間の動きは、前の年に倣って引き継がれることが多い。「こういう取組をした」ということを年間行事に盛り込んでおくと、例年2月頃に次年度の行事予定を作成するので、学校でやっていくことは可能である。
- ・前年まで架け橋等を意識せずに交流をたくさんしていたということがあったので、それを掘り起こして無理なく踏襲する形で架け橋に落とし込んで、架け橋として行う取組の確認をすることでお互いを分かり合うということはある。「そこに加えて何ができるか」ということなら、どの小学校も無理なくスタートできる。
- ・出席者は、1年生の担任、年間行事やカリキュラム等の管理をしている教務主任がいる方が、話が進みやすいので良い。
- ・ブロック会議の日程調整は、センターに担ってもらった方がスムーズに進められる。
- ・年度末のブロック会議が振り返りで終わってしまうのではなく、次年度の計画を見渡せると良い。

＜まとめ＞

- ・センターによるコーディネートを含め、年度当初や年度末のブロック会議をスムーズに開催するための方法について引き続き検討し、共有する必要がある。
- ・各ブロックの取組をさらに進めていくためには、取組内容等を無理なく決めていけるような手法について引き続き検討し、共有する必要がある。

（２） 架け橋期カリキュラム作成に向けた手引きについて

「保幼小連携の手引き」及び「架け橋ブロック連携ファイル」の事務局案について意見交換を行った。

＜部会員意見等＞

- ・「架け橋期のカリキュラム」は、もっと簡素化したものの方が良い。
- ・カリキュラムは、作成することが目的ではなく、「お互いにどういう子どもを育てていきたいか」ということを、就学前施設と小学校で一緒に話し合っ
「めざす子ども像」がぶれないように作っていくプロセスが大事である。
- ・カリキュラムは、手書きよりも入力してできるようなものだと良い。
- ・次の担当者への引継ぎなどのためにこの連携ファイルを充実させていくことも重要だが、本来、育みたいのは、子どもがしっかり幼児期から小学校にうまく適応して育っていく経験になるということが目的である。
- ・「園では子どもたちはこんな学びをしていた」「小学校ではこんな学びをしていた」という情報を蓄積しておくことが重要である。その蓄積がカリキュラム作成時に、実際に子どもの成長の中身が読み取れるようになっていくことが一番良い。
- ・前年度はこの連携ファイルがなかったので、自園でファイルを作り、ドキュメンテーションのように、子どもの写真をベースに、文章でまとめて記録として残した。形にとらわれずに分かりやすい形・残しやすい形というのはそれぞれあっても良い。
- ・小学校では写真撮影が難しいが、終わった後の子どもの思いなどは、生活科などでは必ず振り返りをして、自分たちでプリントで書くので、子どもの思いは拾うことができる。
- ・事務局の連携ファイルの案は、今年度のブロック会議のレジュメよりも分厚く
なっており、もっと簡素化した方が良いと思う。

＜まとめ＞

- ・一つのカリキュラムを作成するためには、各施設の様々な取組を、まずは色々出して検討していく必要がある。手引きに書かれているものを踏まえながら、難しく考えず、実際の取組を進めていく。
- ・実際の交流事業をより実施しやすくしたり、架け橋期カリキュラム作成に向けてより取り組みやすくするため、引き続き手引き及び連携ファイルについて意見交換等を行う必要がある。

【その他】

(部会員) 来年度 3 つの小学校が統合されて 1 つになるが、架け橋ブロックはどうなるか？

(事務局) 「3 つのブロックを単純に 1 つにする」案や、「他ブロックの小学校とも連携があるなどの就学前施設は、その小学校のブロックに移る」案などが考えられる。いずれにしても当該施設と相談したい。

○令和7年度 保幼小連携専門部会への依頼内容

R7.5.19 第1回推進協議会において専門部会へ依頼することとした内容

- ①架け橋ブロックを活用した保幼小連携の推進策について
 - ・ 架け橋ブロック会議での意見や、各園等の課題、既に取り組んでいる事業などを共有し、全ブロックにおいて取組をさらに進めていけるよう、保幼小連携の進め方等について検討する。
- ②保幼小の交流事業や架け橋期カリキュラム作成に向けた手引きについて
 - ・ 人事異動や担当変更等の際に、新任担当へ過去の経過や現在の取組状況などを切れ目なく引き継いでいくことが重要である。
 - ・ 交流事業等を実施しやすくしたり、架け橋期カリキュラム作成に向けて取り組めるような「手引き」の作成を考えており、それについて意見交換等を行う。

○本日の検討事項

- ①架け橋ブロックを活用した保幼小連携の推進策について
 - ・ 第1回保幼小連携専門部会において共有した現状、課題、既に取り組んでいる事業を踏まえた、取組内容等を各ブロックにおいて大きな負担なく決めていけるような手法等への助言。
- ②保幼小の交流事業や架け橋期カリキュラム作成に向けた手引きについて
 - ・ 実際の交流事業や架け橋期カリキュラム作成に向けた手引き等への助言。

令和7年度 架け橋ブロック一覧

令和7年4月1日現在

No.	小学校	公立幼稚園	公立保育所	私立幼稚園	民間認定こども園	民間保育所(園)	計
1	菟道		善法	こざくら		みんなのきHana	4
2	菟道第二		宇治				2
3	小倉		小倉双葉園	宇治	南浦くすのき		4
4	北小倉			小倉	こひつじ		3
5	槇島				槇島ひいらぎ のぞみ		3
6	北槇島				いずみ		2
7	西小倉		西小倉	堀池 西小倉			4
8	南小倉				南浦		2
9	神明			みのり	ひいらぎ		3
10	伊勢田				伊勢田		2
11	西大久保・平盛		大久保		同胞	くりくま	5
12	大久保・大開			ひろの		広野	4
13	三室戸・笠取				みんなのき三室戸	あさひ	4
14	南部	ひがしうじ		かおり			3
15	岡屋				みんなのき黄檗(分園)		2
16	木幡		木幡 北木幡		登り(本園) 第2登り		5
17	御蔵山・笠取第二			大谷大学附属大谷			3
18	宇治				みんなのき黄檗(本園) 明星っ子	なかよし(本園・分園)	5
						合計	60

令和7年度 架け橋ブロックの取り組みについての報告

○5月末から6月末にかけて、架け橋ブロック18ブロックの第1回会議の日程調整およびレジュメを持参して会議への同席実施。

(実施済のブロックは後日レジュメを郵送、電話での説明、会議結果の聞き取りを実施)

※『架け橋ブロック第1回会議日程一覧』参照

※レジュメ参照

※『架け橋ブロック第1回会議内容一覧』参照

○会議の効果について

- ・今年度の取組やお互いの状況の意見交換等できたので「架け橋ブロック会議」開催自体に評価いただいた。
- ・会議開催により、早期の交流事業実施や、先生の施設見学等につながった。

○課題について

- ・取り組みを進めるために予算が必要という意見があった。
- ・交流事業の打ち合わせやカリキュラム作成などにおいて、チームスなどのデータ共有システムがあれば…という意見があった。
- ・施設数が多いブロックは日程調整だけでも大変である。
- ・カリキュラム作成については、ハードルが高いと感じられている様子があるが、作成を通じてつながっていきたいと発言されたブロックもある。
- ・担当になった先生や1年生の先生は意識がもっているが、学校全体に広めることが課題。

○見学させていただいた取り組みについて紹介

*12ブロック生活科単元『なつとなかよし』シャボン玉遊び』

- ・実施内容…大開小学校に広野幼稚園、広野保育所の5歳児が来校。(約30名)
- ・ねらい…小学校の生活科単元『なつとなかよし』シャボン玉遊びの授業に、園・所の5歳児も参加し、1年生と一緒に楽しむ。
- ・事業について…シャボン玉液準備において予算が課題である。
シャボン玉遊びを楽しむ中で、時折1年生と5歳児が関わる様子があった。

*4 ブロック『保育見学』

- ・実施内容…北小倉小学校教員1名が、こひつじこども園にて保育見学。
(5歳児クラス37名)
- ・ねらい…幼児期の教育・保育を知る。
- ・事業について…学級活動は、「グループを決める」「マット遊び」「給食」
【小学校の先生より】
- ・小学校は、机が前向きのため友達の顔が見えにくい。今日は一つの机をグループみんなで囲んで相談していた。友達の顔が見えてよいと思った。
- ・できることがたくさんあると感じた。(着替え、布団引き、リーダーの仕事など)
- ・小学校の着替えは、自分の机の上で服を畳んだり置いたりするが、園の様子を見てみると、床で畳んだり置いたりすることが多いと感じる。

*8 ブロック『保育見学・研修会』

- ・実施内容…南小倉小学校教員(約20名)が、南浦こども園にて保育見学。
- ・ねらい…幼児期の教育・保育を知る。
- ・事業について…学級活動は「買い物ごっこ」(異年齢)・各保育室での活動(製作など)
【小学校の先生より】
- ・育ちをしっかり引き継いでいきたい。
- ・1年生は何もできないと思っていた。様々なことを体験してきていることを踏まえて子どもたちを育てていきたい。
- ・乳児の様子から見せていただいたので、発達の順を追ってみることができた。
- ・子どもの理解は背景を知らないといけない。育ちは連続して続いている。連続した見取りが大事だということを改めて感じさせていただいた。

*17 ブロック『夏季研修会』

- ・実施内容…大谷大学附属大谷幼稚園において夏季研修会を実施。御蔵山小学校・笠取第二小学校教員が(約30名)、大谷幼稚園教員(7名)参加。
- ・ねらい…①架け橋ブロックにおける顔の見える関係づくり
②架け橋期の教育・保育の充実のための育ちと学びをつなぐ教育・保育の実践につなげる。
- ・事業について…幼稚園の紹介・施設見学・グループワーク・全体交流
【幼稚園の紹介・施設見学・グループワークを通して】
- ・幼稚園の紹介では、一日の流れや幼稚園で大切にされていることの説明があった。
- ・施設見学では、さまざまな環境について、主体的な活動を促す視覚表示、遊びの続きができるような工夫など実際の環境を観て説明があった。
- ・グループワークでは、環境の部分の接続の実践(ござの活用)や移行支援シートの活用について、どんな力を育ていけばよいか…など活発な意見交流がなされていた。

架け橋ブロック

第1回会議日程一覧

場所…小学校（下線付き）

時間…16時～（連絡会終了後以外のブロック）

ブロック	校・園・所名	日程	時間	同席
1	<u>菟道小学校</u> ・こざくら幼稚園 みんなのき Hana 保育園・善法保育所	6月24日	16時～	垣見
2	<u>菟道第二小学校</u> ・宇治保育所	6月17日	菟道第二小 連絡会后	岩崎
3	<u>小倉小学校</u> ・宇治幼稚園・南浦くすのきこども園 小倉双葉園保育所	6月9日	16時～	岩崎
4	<u>北小倉小学校</u> ・小倉幼稚園・こひつじこども園	6月6日	16時～	岩崎
5	<u>榎島小学校</u> ・榎島ひいらぎこども園 のぞみこども園	5月29日	榎島小 連絡会后	岩崎
6	<u>北榎島小学校</u> ・いずみこども園	6月3日	16時～	垣見
7	<u>西小倉小学校</u> ・堀池幼稚園・西小倉幼稚園 西小倉保育所	6月19日	16時～	岩崎
8	<u>南小倉小学校</u> ・南浦こども園	6月10日	16時～	岩崎
9	<u>神明小学校</u> ・みのり幼稚園・ひいらぎこども園	5月23日	神明小 連絡会后	岩崎
10	<u>伊勢田小学校</u> ・伊勢田こども園	調整中↓ 日程について 岩崎までご連絡ください。	6月13日 16時～	垣見
11	<u>西大久保小学校</u> ・平盛小学校・同胞こども園 くりくま保育園・大久保保育所	6月26日	16時～	岩崎
12	<u>大開小学校</u> ・大久保小学校・広野幼稚園 広野保育所	6月12日	16時～	岩崎
13	<u>笠取小学校</u> ・ <u>三室戸小学校</u> みんなのき三室戸こども園・あさひ保育園	5月28日	三室戸小 連絡会后	岩崎
14	南部小学校・かおり幼稚園・ひがしうじ幼稚園	4月10日 済	レジュメ 後日郵送	
15	<u>岡屋小学校</u> ・みんなのき黄檗こども園（分園）	6月5日	16時～	岩崎
16	<u>木幡小学校</u> ・登りこども園・第2登りこども園 木幡保育所・北木幡保育所	6月16日	16時～	岩崎
17	御蔵山小学校・笠取第二小学校・大谷幼稚園	5月1日 済	レジュメ 後日郵送	
18	<u>宇治小学校</u> ・みんなのき黄檗こども園 明星っ子こども園・なかよし保育園	5月28日	宇治小 連絡会前 13時～13時半	垣見

架け橋ブロック第Ⅰ回会議

1. 第Ⅰ回会議

日時 月 日 () : ~ : まで

会場 _____

2. 担当者自己紹介(★代表者)

校・園・所名	担当者名	連絡先
	★	

3. 各施設の子どもの実態について

4. 教育目標や基本理念について

5. めざす子ども像について

6. 交流計画立案

＊やってみたいこと

【取り組みの具体例】

- ・Zoom 交流（園児の質問に答えるなど）
- ・公開保育、授業参観への参加
- ・合同研修会への参加
- ・意見交換会
- ・校長先生からの学校説明
- ・学校探検
- ・校庭遊び体験
- ・体育授業見学
- ・アプローチカリキュラム、スタートカリキュラム
を持ち寄り検討・協働作成
- ・学校半日体験
- ・生活科授業参加
- ・架け橋期カリキュラムの検討・実施

交流計画案

月日時	場所	取組	対象

7. 次回ブロック会議日程について

日時 月 日（ ） : ~ : まで

会場 _____

8. その他

- ・アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムについて
- ・架け橋期のカリキュラムについて

架け橋期のカリキュラム

	0 歳 ～	5歳児												小学校1年生												2 年生 ～
共通の視点		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
① めざす子ども像																										
② 遊びや学びのプロセス																										
③ 子どもの学びや生活を豊かにする園の環境の構成・小学校の環境づくり																										
④ 園で展開される予想される活動例／小学校の生活科を中心とした各教科等の単元構成等																										
⑤ 子どもの安心・育ちと学びを支える教師の関わり																										
⑥ 子どもの交流																										
⑦ 教職員の交流																										
⑧ 家庭や地域との連携																										

	0歳～	5歳児												小学校1年生												2年生～				
共通の視点		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
①めざす子ども像		〇考えることを楽しみ、進んで学ぶ(遊ぶ)子 〇思いやりのある心豊かな子 〇進んで体を動かす明るく元気な子																												
②遊びや学びのプロセス		興味・関心 身近な環境へ主体的に関わる。 試行錯誤 挫折・葛藤 考えたり、予想したり、工夫したりして繰り返し遊ぶ。 協同 友達と協力する・考えを出し合う・折り合う・自分たちで遊びを進める・達成感を共有する。 自信・自立・期待・意欲 興味・関心 試行錯誤 挫折・葛藤 気付き・考え 協同 自信・自立・期待・意欲 挑戦 安心・安定した生活 (家庭・園校・地域の中で守られ・大切にされているという実感、大好きな先生・おとなの存在、清潔で安全な生活や学びの場)																												
③子どもの学びや生活を豊かにする園の環境の構成・小学校の環境づくり		幼児・児童と共によりよい環境をつくり出していく 「繰り返し考えたり、試したりして工夫できる」・「自分の気持ちを立て直せる」・「他者と折り合える」場と時間の保障 体を動かしてみたいくなる環境 ・5歳児になると使えるあこがれの道具や用具 ・遊びや人数に合わせて場の広さを調整 試したり挑戦したりしてみたいくなる環境 ・一人ひとりが、目当てをもって挑戦していることやその過程を可視化 人とかかわってみたいくなる環境 ・友達の顔が見える机の配置 ・友達と相談しながら遊びの場を構成できるような用具等の準備 ・異年齢の友達と積極的に関わって遊べる場づくり 表現してみたいくなる環境 ・これまでに使ったことのある身近な素材・材料など ・整理整頓された製作環境 ・家庭と協力した素材・材料集め ・選べる豊富な素材・材料など ・つくったものを飾れる場 ・遊びに必要なものをいつでも作れる場 自然や生命が感じられる環境 ・見付けた虫、草花などを飼育・観察できる場 ・季節ならではの自然との出会い、触れ合い ・自然物の分類(種類、大きさ、数量など) ・探究へと誘う図鑑や絵本の配置 ・野菜の栽培と味わう機会																								児童が主体的に課題に取り組むことができる環境の工夫 ・発問…知的好奇心の喚起 ・導入・展開…自己決定・思考錯誤 ・教材提示…思考の手助け ・ペア・グループ活動…知識の広がり・深まり 校内・教室環境の工夫 ・視覚的に分かりやすい掲示…UDに共通する支援 ・学びの過程が見える掲示…振り返ることで考えを深める手助け ・係活動等で使用する教具の配置…手に取りやすく整理しやすい				
④園で展開される予想される活動例／小学校の生活科を中心とした各教科等の単元構成等		進級	こどもの日	遠足	七夕	お泊り保育(か)	プラネタリウム	運動会	遠足	クリスマス	餅つき	絵画展	節分	発表会	入学式	1年生を迎える会	水遊び	縦割り遊び	運動会	校外学習	縦割り遊び	修了式								
		自分の興味・関心に基づいて 気の合う友達と一緒に												いろいろな友達と協力して めあてをもって												あが い お う だ い す き た い く ぞ ー が つ こ う わ げ た ん し き に は そ な だ て で あ か そ け び よ う に 水 あ そ び な つ と な か よ し 生 き も の 大 す き あ き と な か よ し ひ ろ が れ え が お し て が み よ う ふ ゆ と な か よ し も う す ぐ 2 年 生 算数科 「わくわくす たあと」 図画工作科 「すなやつちと なかよし」 事例1 事例2 イメージマップ 国語科 「しらせたいな みせたいな」 ※その他にも他教科 との関連あり				
⑤子どもの安心・育ちと学びを支える教師の関わり		環境の変化への戸惑いを温かく受け止める。		思いを出し合ったり認め合ったりしながら自分たちで遊びを進められるように、それぞれの思いを引き出したり、言葉をつないだりして支える。						それぞれのよさを認め合いながら、自信をもって就学に向かえるようにする。						安心を生み、成長・自立を支える。(一緒に活動を楽しむ。温かく見守る。子どもの目線で話を聞く。														
		好きな遊びと一緒に楽しみながら、信頼関係を育む。		友達と一緒に活動する楽しさや、力を合わせて取り組むことの大切さに気付けるように言葉を掛ける。						気付いたことを話したり聞いたりする機会をもち、翌日の活動に期待がもてるようにする。						幼児期の遊びを通じた総合的な指導を意識しながら、子ども一人一人の個性(資質・能力)を見取る。								幼児教育の内容や支援等を理解した上で、小学校でも段階に合わせて効果的に取り入れる。						
		いざこざが起きた場合には、幼児と共に解決方法を探り、自分たちで折り合いを付けられるように支える。						自分なりのめあてをもち、やってみたいことに取り組めるように、認め、励まし、繰り返し挑戦しようとする気持ちを支える。						主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善をする。																
⑥子どもの交流		小学校で遊ぶ(東→南)		プール交換(東→南) 小学校の深いプールを体験		うさぎ・インコ交流		給食体験(東→南)		給食体験(か→南)		半日入学		プール交換 幼稚園の浅いプールで水慣れ								就学時健診		半日入学		生活科 「もうすぐ2年生」 遊び場づくり				
		幼児同士の交流【しっぽとり】(東→か)						秋の自然物さがし		秋まつりに参加		給食体験(か→南) (東→か)		秋の自然物さがし												給食交流				
⑦教職員の交流		授業参観・年間の計画 〈府コンサルタントチーム活用〉				保育参観・協議 [南:全教職員] 〈府コンサルタントチーム活用〉				東宇治中ブロック 合同研修会		2学期の 交流計画		東宇治中ブロック 合同研修会		乳幼児教育・保育協働研 修会(南部小公開授業)				乳幼児教育・保育協働研 修会(東宇治幼公開授業)				3学期の 交流計画		次年度に 向けて				
⑧家庭や地域との連携		ホームページ・保育参観(毎月)・東宇治地区民生児童委員との連携・個人懇談会												ホームページ(年間計画・週予定等)、CS・学区福祉委員との連携																
		保育参観		園外保育(こども110番の家を確認など)				保育参観		教育講演会(南→か)		保育参観		授業参観				夏のタベ		授業参観				授業参観						

※ 南(南部小学校)・東(東宇治幼稚園)・か(かおり幼稚園)

	小学校	就学前施設	R6 実施 ◎	R7 計画 実施 ◎	R7 取組内容			
					子ども		職員 同士	その他
					見学・体験	交流		
1	菟道	善法保育所	◎	◎		○		
		こざくら幼稚園	◎	◎		○		
		みんなのき Hana 保育園	◎	◎		○		
2	菟道第二	宇治保育所	◎	◎		○ (小・外)		
3	小倉	小倉双葉園保育所	◎	◎		○		
		宇治幼稚園		◎	○			
		南浦くすのき認定こども園		◎		○		
4	北小倉	小倉幼稚園		◎		○	○ (就)	
		こひつじこども園	◎	◎			● (就)	
5	槇島	槇島ひいらぎこども園	◎	◎	●			
		のぞみこども園	◎	◎	●			
6	北槇島	いずみこども園	◎	◎	○ (就・小)	○	● (就・小・中)	
7	西小倉	西小倉保育所	◎	◎	○		●	
		堀池幼稚園		◎	○			
		西小倉幼稚園		◎	○			
8	南小倉	南浦認定こども園	◎	◎	●	●	●	
9	神明	みのり幼稚園	◎	◎		○	○	○
		ひいらぎこども園	◎	◎		○	○	○
10	伊勢田	伊勢田こども園	◎	◎	●	○		
11	西大久保 平盛	大久保保育所	◎	◎	○	● (就)		
		同胞こども園	◎	◎	●			
		くりくま保育園	◎	◎	●			
12	大久保 大開	広野幼稚園	◎	◎		● (小・外)		○
		広野保育所		◎		● (小・外)		○
13	三室戸 笠取	みんなのき三室戸こども園	◎	◎		○	● (就)	
		あさひ保育園	◎	◎		○	● (就)	
14	南部	ひがしうじ幼稚園	◎	◎	● (就・小)	●	●	●
		かおり幼稚園	◎	◎	●	●	●	●
15	岡屋	みんなのき黄檗こども園 (分園)	◎	◎	○	○	○ (就)	○
16	木幡	木幡保育所	◎	◎	○			○
		北木幡保育所		◎	○			○
		登りこども園 (本園)	◎	◎	○ (就・小)	●		○
		第2登りこども園	◎	◎	○			○
17	御蔵山 笠取第二	大谷幼稚園	◎	◎	●	○	● (就)	
18	宇治	みんなのき黄檗こども園 (本園)	◎	◎	○	○	○ (就・小)	
		明星っ子こども園	◎	◎	○	○	○ (就・小)	
		なかよし保育園 (本園・分園)	◎	◎	○	○	○ (就・小)	

※「見学・体験」、「交流」、「職員同士」欄…カッコ内の表記は取組場所 (カッコ無しの場合の取組場所は小学校)

架け橋ブロック取組一覧

R7.10.23 現在

ブロック		校・園・所名	会議の主な内容					
1		菟道小学校 こざくら幼稚園 みんなのき Hana 保育園 善法保育所		・昨年度、取り組んだ「左義長」を深める。(取組を増やすより一つを深める) ・就学に対する期待を高める、膨らませるという位置づけ、そういう意識で先生たちが接することが大切。 ・昨年度は、小学校から左義長の案内を3園に送り、当日2園来校。校庭遊びや授業見学も実施。 ・振り返りを行い、しばらく左義長を継続することに。左義長を軸、派生的に生まれると考えている。 ・小学校教員が就学前施設への訪問を考えている。日程調整する予定。 ・左義長の事前打ち合わせをする予定。	二学期	太陽が丘	生活科 秋見つけ 自然物を見つけ集める。	5 歳児 1 年生
						菟道第二小学校	生活科 秋となかよし 自然物でワークシヨップ	5 歳児 1 年生
						菟道第二小学校	大縄大会見学	5 歳児
						菟道第二小学校	作品展見学	5 歳児
					三学期	菟道第二小学校	昔遊び	5 歳児 1 年生
2		菟道第二小学校 宇治保育所						
3		小倉小学校 宇治幼稚園 南浦くすのき 認定こども園 小倉双葉園保育所		小倉小学校 小倉小学校 小倉小学校	校庭遊び・校内探検 5 年生と交流 (運動遊び？音楽発表？) あきみつけ (お店屋さん)	9 月 or 10 月	小倉小学校	宇治幼 5 歳児
						小倉小学校	5 年生 5 歳児 (南浦) 1 年生 5 歳児 (双葉保・宇治幼)	
4		北小倉小学校 小倉幼稚園 こひつじこども園		北小倉小学校 こひつじ こども園 小倉幼稚園	生活科授業参加 暑さのため中止 「なつとなかよし」シャボン玉遊び 保育見学 保育見学 実施できず 運動会みせあいっこ (チームリレー・玉入れ)	7/8 (火)	北小倉小学校	全 5 歳児 1 年生
						こひつじこども園	小学校教員	
	11/12	北小倉小学校	小学校教員 全 5 歳児					

5	榎島小学校 榎島ひいらぎこども園 のぞみこども園	9/19 14時～14時半	榎島小学校	小学校体験	全5歳児
		11/6 10:45～11:30	榎島小学校	運動遊び(体育館)	全5歳児
		1/14 10:45～11:30	榎島小学校	校庭での運動遊び	全5歳児
		・ 架け橋期のカリキュラムについて 実践したことを落とし込む。今年 は 実践を優先。来年度に向けて長いスパンで形作る。 ・ 共有データが欲しい。			
6	北榎島小学校 いずみこども園	6月	北榎島小学校	校庭で遊ぶ→雨天のため中止	幼児・園の先生、小 の教務主任
		6月19日 5校時	北榎島小学校	中学校ブロックの公開授業 (10月14日は榎島小で開催・中学は5月に 済)	全学年 こ小中職員
		7月23日 ・24日	いずみこども園	保育見学	小学校教員
		11月	こども園	園庭でのドングリ拾い・ドングリでのおもち 作り	1年生・5歳児
		三学期	北榎島小学校	校内めぐり(授業の様子を見て期待感をもつ) 校庭遊び	5歳児
7	西小倉小学校 堀池幼稚園 西小倉幼稚園 西小倉保育所	夏休み →7月に実施(2日)	西小倉保育所	就学前施設見学	小学校教員3名
			西小倉小学校	給食見学ツアー	全5歳児 5年生?
			西小倉小学校	学校探検・図書館司書読み聞かせ	全5歳児
		・ 今回の計画案を持ち帰って検討してから決定する園もあり。			
8	南小倉小学校 南浦認定こども園	6月	南小倉小学校	学校探検	5歳児
		8/20	南浦こども園	教職員の保育体験 (手遊び、絵本、園からのお話)	小学校教職員
		10/14	南小倉小学校	2年生児童と5歳児の関わり (生活科おもちゃランド)	2年生 5歳児
		10/7	南浦こども園	運動会予行練習見学	小学校教職員(担任外)
		1/6	南浦こども園	生活科学発表会見学	小学校教職員(担任外)
		・ 今回が3回目の会議ということ、すでにおおよそ交流計画が立っておりスムーズに話が進んでいた。			

9

神明小学校 みのり幼稚園 ひいらぎこども園		就学前施設	出前授業	全5歳児
		神明小学校	1年生との交流 (生活科 あきみつけなど)	全5歳児 1年生
	夏休み	ひいらぎこども園	他校種研修 (2年生担任)	
		ひいらぎこども園	作品展見学	小学校教師
	年間通じて 6/13 10/18 11/29 2/4	神明小学校	授業参観 5時間目 運動会 土曜参観 (2時間目) 図工展 (5時間目)	就学前職員

・ 架け橋期のカリキュラムについて、次回教育課程、スタートカリキュラムを持ち寄りカリキュラムに向けて話し合う。

10

伊勢田小学校 伊勢田こども園	9月	伊勢田小学校	プール、校庭の様子を見る	5歳児
	10月	伊勢田小学校	運動会の練習	5歳児
	10月	伊勢田神社	秋見つけ	5歳児 1年生
	11月	伊勢田小学校	1年生の教室の前を通る 校長室の前を通る	5歳児
	12月	伊勢田小学校	学校探検(トイレ等)	5歳児 5年生
	1月	伊勢田小学校	育成の見学	5歳児
	2月	伊勢田小学校	作品展の見学	5歳児
	1～2月	伊勢田小学校	1年生が地域の方に教えてもらった 昔遊びを5歳児に教える。	5歳児 1年生

・ スタートカリキュラムについて → 小学校より渡す。
架け橋期のカリキュラムについて → 今年度目途にめざす。
・ 9月4日第2回会議を実施予定。

	西大久保小学校 平盛小学校 同胞こども園 くりくま保育園 大久保保育所	・校長先生が二人同席、積極的なご意見もあり『やっていこう』という雰囲気につながった。 ・具体的な日程は決まっていらないが、5施設の気持ちがあままとまっており、連絡を取り合っていることから取り組みをされる様子があった。交流計画案は沢山挙がった。 ・龍舞の取組への参加（くりくま保→平盛小） ・たこあげ（同胞こ→平盛小） ・校庭遊び（同胞こ→平盛小） ・高学年による絵本読み聞かせなど・・・ ・カリキュラムはやってきたこと、やってみたいことを様式におとしてみることから始めてみる。 ・話し合うことが幼、小のつながりになる。 ・10/31 大久保保育所にて5年生が福祉体験（総合学習） ・11/20 西大久保小学校にておもちゃ作りに大久保保育所5歳児を招待（生活科：あきとなかよし） ・2/10 西大久保小学校での学校探検（大久保保育所5歳児） ・平盛小学校運動会に、就学予定の1年生を招待（玉入れに参加） ・9/30 平盛小学校 ピースランマラソン選手への5・6年生龍舞披露に同胞こ・くりくま保5歳児を招待する予定																
1 2	大久保小学校 大開小学校 広野幼稚園 広野保育所	<table><tr><td>7/14・15</td><td>大開小学校</td><td>生活科：なつとなかよし シャボン玉遊び</td><td>全5歳児</td></tr><tr><td>11/18 （10 時～10 時 30 分）</td><td>太陽が丘</td><td>生活科：あきとなかよし 木の葉や葉っぱなど採集 （大久保小は 11/6 に校外学習で実施）</td><td>1 年生（大開小） 全 5 歳児</td></tr><tr><td>11/26 （3 時間目）</td><td>大開小学校 大久保小学校</td><td>生活科：あきとなかよし 採集したものでおもちゃづくり</td><td>広野保・広野幼 5 歳児 各校 2 クラスずつ</td></tr><tr><td>三学期</td><td>大開小学校 大久保小学校？</td><td>学校紹介の動画を送る</td><td>全 5 歳児</td></tr></table>	7/14・15	大開小学校	生活科：なつとなかよし シャボン玉遊び	全5歳児	11/18 （10 時～10 時 30 分）	太陽が丘	生活科：あきとなかよし 木の葉や葉っぱなど採集 （大久保小は 11/6 に校外学習で実施）	1 年生（大開小） 全 5 歳児	11/26 （3 時間目）	大開小学校 大久保小学校	生活科：あきとなかよし 採集したものでおもちゃづくり	広野保・広野幼 5 歳児 各校 2 クラスずつ	三学期	大開小学校 大久保小学校？	学校紹介の動画を送る	全 5 歳児
7/14・15	大開小学校	生活科：なつとなかよし シャボン玉遊び	全5歳児															
11/18 （10 時～10 時 30 分）	太陽が丘	生活科：あきとなかよし 木の葉や葉っぱなど採集 （大久保小は 11/6 に校外学習で実施）	1 年生（大開小） 全 5 歳児															
11/26 （3 時間目）	大開小学校 大久保小学校	生活科：あきとなかよし 採集したものでおもちゃづくり	広野保・広野幼 5 歳児 各校 2 クラスずつ															
三学期	大開小学校 大久保小学校？	学校紹介の動画を送る	全 5 歳児															
1 3	三室戸小学校 笠取小学校 みんなのき 三室戸こども園 あさひ保育園	<table><tr><td>夏休み 7/22 実施</td><td>就学前施設</td><td>就学前施設参観</td><td>小学校教諭 数名</td></tr><tr><td>11/6</td><td>大吉山登山</td><td>登山</td><td>1・6 年生 年長児</td></tr><tr><td>11/26</td><td>三室戸小学校</td><td>授業参観</td><td>就学前施設 職員</td></tr><tr><td>2/20</td><td>三室戸小学校</td><td>発表会見学</td><td>就学前施設 職員</td></tr></table> ・チームスがあれば便利 ・小学校カリキュラム作成済み	夏休み 7/22 実施	就学前施設	就学前施設参観	小学校教諭 数名	11/6	大吉山登山	登山	1・6 年生 年長児	11/26	三室戸小学校	授業参観	就学前施設 職員	2/20	三室戸小学校	発表会見学	就学前施設 職員
夏休み 7/22 実施	就学前施設	就学前施設参観	小学校教諭 数名															
11/6	大吉山登山	登山	1・6 年生 年長児															
11/26	三室戸小学校	授業参観	就学前施設 職員															
2/20	三室戸小学校	発表会見学	就学前施設 職員															

南部小学校 かおり幼稚園 ひがしうじ幼稚園	【R7】 ひがしうじ幼稚園 年長 28 人 かおり幼稚園 年長 23 人 + 22 人 4 月 ・年間計画・スタートカリキュラム検討 (3 月末) ・今年度の取組の確認 (担任) ⇒ 4 月 10 日 (木) 15:00～ 南部小 ・授業参観の案内を各園へ送付 5 月 ・南部小学校の遊具遊び、昼食 (ひがしうじ・かおり) ⇒ 6 月 5 日 (木) 10:40～12:30 6 月 ・保幼小連絡会 ⇒ 6 月 3 日 (火) ・給食交流 (かおり 2 クラス) ⇒ 6 月 13 日 (金) 6 年と交流 ・ひがしうじ幼稚園のプール使用 (1 年) ⇒ 6 月 23 日 (月) 雨なら順延 ※雨天のため延期して実施 7 月 ・南部小学校のプール使用 (ひがしうじ・かおり) ⇒ 7 月 16 日 (水) ※悪天候のため中止 8 月 ・小中合同研修会参加 (ひがしうじ・かおり) ⇒ 8 月 20 日 (水) 午前 岡屋小学校 9:30 - 11:45 ・南部小校内研修参加 (ひがしうじ・かおり) ⇒ 8 月 22 日 (金) 午後 13:30 - 16:00 9 月 ・2 学期の取組の確認 ⇒ 7 月 22 日 (火) 14:00～ 南部小 ・インコを借りる (かおり) ・うさぎを借りる (ひがしうじ) 事前に生き物の動画を共有し、1 年生へ指導。 ※日程を変更 (暑さ対策のため) 10 月 ・運動会練習見学 (ひがしうじ・かおり) 10 月 23 日 (木) AM 11 月 ・秋見つけ ⇒ 今年度は小学校単独で行います 12 月 ・秋まつり招待 (ひがしうじ・かおり) ⇒ 12 月 9 日 (火) 南部小体育館 9:30 - 11:20 ・3 学期の取組の確認 12 月 23 日午後 2 時より南部小 1 月 ・給食交流 (ひがしうじ) ⇒ 1 月 27 日 (火) 5 年と交流 ・インコを借りる (かおり) ・うさぎを借りる (ひがしうじ) 2 月 3 月 ・1 年生活科発表に招待 (ひがしうじ・かおり) ⇒ 3 月 6 日 (金) 10:40～ 南部小体育館 ・来年度年間計画・スタートカリキュラム・架け橋カリキュラム検討 ⇒ 3 月 25 日 (水) 10:00～ 南部小
--------------------------------------	---

I 5

岡屋小学校 みんなのき黄檗 こども園（分園）	夏休み （7月中） →予定合わせ	みんなのき黄檗こども園	保育参観	小学校教員
	10/25	岡屋小学校	運動会見学 一緒に遊ぶ	就学前施設のこども 1年生 5歳児
	11/4 9:30～ 10:15	みんなのき黄檗こども園	秋遊び	1年生 5歳児
	11/28 10:35 ～11:20	岡屋小学校	おもちゃランド	1年生 5歳児
	1/19	岡屋小学校	避難訓練参加・学校で遊ぶ	5歳児
	2月後半	岡屋小学校	生活科『あたらしい1年生を しようたいしょう』	1年生 5歳児
	11/18	みんなのき黄檗こども園	他校種研修	小学校教員
・校長先生が同席。昨年度南部小学校での取り組みの紹介もあり、活動案への積極的な意見があった				

I 6

木幡小学校 登りこども園（本園） 第2登りこども園 木幡保育所 北木幡保育所	6/15	登りこども園	単元「遊び場に出かけよう」 一緒に遊ぶ	5歳児（登り） 1年生
	10/29 9:30～10:15 雨天時 10/31	木幡小学校	玉入れ大会 ダンシング玉入れを見た後、園対抗で玉入れ大会	全5歳児
	1/22	木幡小学校	半日入学で保護者向けに教務主任から話をする。 ※小学校の先生に聞いてみたいことを事前に保護 者アンケートをする。（入カフォーム学校で作成） 当日回答する。	入学予定保護者
	2/10	木幡小学校	学校探検 音楽や体育は一緒に、国語、算数などは後ろで見学	登りこども園 5歳児
	2/13	木幡小学校	学校探検	木幡保・ 北木幡保 5歳児

17	御蔵山小学校 笠取第二小学校 大谷幼稚園	5月	御蔵山小学校	校内探検	5歳児	
		6/4	大谷幼稚園	保育研修（製作活動の様子について）	御蔵山小教員 （低学年2名・ 教頭・教務）	
		7/16	御蔵山小学校	プール体験	笠取第二小 5歳児	
		8/25 14時	大谷幼稚園	研修会・園舎見学 （テーマを決めてグループ協議）	御蔵山小 教員全員	
		10/31	笠取第二小学校	あきみつけ	5歳児 1年生	
		11/10	御蔵山小学校	給食体験	5歳児	
		12/15	御蔵山小学校	1年生と遊ぶ	1年生	
					5歳児	
18	宇治小学校 みんなのき 黄檗こども園（本園） 明星こども園 なかよし保育園	9月～10月	宇治小学校	体育大会1年生ダンス見学	全就学前施設	
		11月中旬	宇治小学校	生活科 あきみつけ	全就学前施設	
		11月中旬	宇治小学校	小学校見学	全5歳児	
		12/19	宇治小学校	伝承遊び（宇治学区福祉委員会）	地域の方 1年生 なかよし保・ひがしうじ幼5歳児	
		1/20	宇治小学校	伝承遊び	全5歳児 1年生	
		1/13	宇治小学校	交流（一緒に遊ぶ）	5年生 全5歳児	
			各施設	職員間交流 参観、発表会など既存の行事に参観 ※2か月毎に会議開催時に情報交流。 次回10/27 15時～宇治小学校	全職員	

＊園児の実態や交流計画は、おおよそどのブロックも話し合いが進んでいた。

＊小学校の先生が、幼児教育・保育を観て学びたいと保育参観や保育体験を希望されていた。

＊生活科の授業に園児を招待したり、一緒に体験したりする活動案が多かった。

（なつとなかよし：シャボン玉遊び、あきとなかよし：あきみつけや作ったもので一緒に遊ぶなど）

＊調整が難しいときは、学校探検など、交流ではないが体験できる内容を立案されていた。

＊参観に兼ねるなど、既存の行事などを活用し、無理なくできることを工夫されていた。

＊カリキュラムについては、ハードルが高い様子である。実践したことをまず落としてみようとするとブロックもある一方、今年度は実践に重きを置き、来年度に… というブロックもあった。

＊取り組みを進めるために、チームシステムがあればという意見と予算が必要という意見があった。

<検討事項>

- (1) 専門職による園訪問支援の実施状況を踏まえた課題の抽出について
- (2) 移行支援シートの記入方法について

<検討内容> (部会開催：R7.7.23 出された意見の抜粋とまとめ)

(1) 専門職による園訪問支援の実施状況を踏まえた課題の抽出について

専門職による園訪問支援の実施状況について、施設が希望した支援の内容や園訪問の結果等を事務局から報告した。

<部会員から出た意見・課題等>

- ・センター職員による定期訪問の際に、専門職による園訪問につながるようなイメージが持てなかった。
- ・「先生の困りごとが今回これだったから、この専門職が訪問した」というような、具体的な部分が分かりにくい。
- ・「今、タイムリーに相談したい」というケースがある時に、相談に数か月待たされたりすることはないか。
- ・今まで困ったことがある場合は、保育支援課の障害児保育指導員に相談していたが、これからの相談の窓口はセンターになるのか。
- ・園訪問の申込みの方法や手順を説明して、入り口がはっきり分かるようにした方が良い。
- ・保育の各場面によつての困り、一過性のものから頻繁に起こるものまで、どのように対応すれば子どもにとって良いかが分からない時に、気軽に相談できる所がセンターであれば良い。
- ・子どもの様子を定期的に訪問して見てもらって、どのような支援が必要かを教えてもらえるようなイメージを持っている。

<改善策等>

- ・専門職による園訪問事業がどのような事業なのか、また、就学前施設が申し込む場合と、センター職員の訪問から専門職による園訪問につなげる場合があるなど、手順も含めて広く周知する必要がある。
- ・「このケースはこの窓口で相談しなければいけない」「このケースはどこに連絡すれば良いか分からない」というように迷うと大変。まずはセンターに相談して、ケースの内容によって保育支援課や保健推進課等の相談先に案内するような流れが良いのではないか。

<まとめ>

専門職による園訪問の流れや支援内容等の全体像が分かりにくい



専門職の定期的な訪問が可能か検討を行うとともに、相談窓口や
申込方法・園訪問支援の内容等の手順の明確化・周知を行う。

(2) 移行支援シートの記入方法について

昨年度に統一した移行支援シートについて、事務局による作成マニュアルを見ながら、記入方法等について意見交換した。

<部会員意見等>

- ・移行支援シートの対象児となるかどうかの線引きは、保護者とのやり取り等もあるので、この専門部会ではなく各就学前施設で判断することになる。
- ・移行支援シートを作成することが難しい場合や、移行支援シートの話をすることで保護者との関係が悪くなるようであれば、無理に作成するのではなく、口頭で小学校へ伝えるなどの別の方法でもよい。
- ・小学校から中学校へのつながりも意識して統一様式を活用していく方が分かりやすい。
- ・「入学当初予想される姿」は、小学校からすると大変参考になり助かっている。
- ・子どもはその時々で色々な面を見せるため、要録や移行支援シートと異なる姿があっても問題ない。
- ・引き継いで終わりではなく、小学校と就学前施設との間で、子どもの様子などを尋ねられる関係ができると良い。
- ・この移行支援シートは、保護者の同意を得て一緒に作り上げていくということもあり、まずは「できるところから始めていく」としてはどうか。
- ・子どもたちのより良い就学のためにも、保護者への周知は必要である。

<まとめ>

- ・移行支援シートの記入方法や、移行支援シートが必要な子どもがシートを活用できるように保護者への説明方法等について、引き続き検討していく。



移行支援シート活用のための研修の実施
(R7.8.1 研修実施。各施設に音声入りの研修動画提供)

○令和7年度 発達・子育て支援専門部会への依頼内容

— R7.5.19 第1回推進協議会において専門部会へ依頼することとした内容 —

①専門職による園訪問について

- ・ 定期訪問により把握した生きづらさ等の困りごとを抱える子どもたち1人ひとりの育ちを支援していくにあたっての課題等と、その解決に向けて先生たちを支援するための専門職派遣の対応状況等について共有を図り、園訪問支援の進め方について意見交換等を行う。
- ・ 全ての子どもがより豊かに園生活が送れるよう、園の先生方が、発達に課題のある子どもやその保護者への対応力をさらに向上できる手法等について常に検討していく。

②移行支援シートの作成マニュアルの検討について

- ・ 移行支援シートを活用していくため、今年度に研修を予定している。
- ・ 書き方のポイントを示した記入例等の作成を考えており、それについて意見交換等を行う。また、課題が生じた場合には改善に向けた検討を行う。

○本日の検討事項

①専門職による園訪問について

- ・ 専門職による園訪問に向けた、相談窓口や申込方法・園訪問支援の内容等の手順の明確化・周知を行う。それを踏まえた園訪問支援の進め方についての助言。

②移行支援シートの作成マニュアルの検討について

- ・ 第1回発達・子育て支援専門部会で出た意見等を踏まえた、移行支援シートの記入方法や、移行支援シートが必要な子どもがシートを活用できるように保護者への説明方法等への助言。

1 専門職による園訪問支援事業実施状況

(1) 幼稚園（令和7年7月3日実施）

①訪問に至る経過 センターからの勧めにより訪問

②園訪問した専門職 作業療法士、言語聴覚士（府こども発達支援センター）

③施設が希望した支援の内容

- ・子どもたちが「朝の身支度を自分でやってみよう」という気持ちをもつための環境づくり等について
- ・子どもたちが身体をコントロールできるようになるための遊びの環境づくり等について
- ・子どもたちが苦手なことに對して「やってみよう」「挑戦してみよう」という気持ちをもてるような遊びの環境づくり等について

④結果等

（施設の感想）

- ・専門的な視点で、気付いていなかったことや曖昧になっていたことを指摘してもらえて、細かく分かりやすい保育を心掛けることがインクルーシブ保育につながると感じる事ができた。
- ・落ち着かない幼児には敢えて座面を不安定にすることや、苦手な活動は幼児が興味をもてるような遊びの中に組み込むことなど、自分では思いつかなかったアドバイスをもらった。

(2) 認定こども園（令和7年7月8日実施）

①訪問に至る経過 定期訪問の後、園からの電話申込により訪問

②園訪問した専門職 作業療法士（府こども発達支援センター）

③施設が希望した支援の内容

- ・看護師が個別に對應を要するケースについて集団での活動の注意点
- ・園内での環境設定、階段昇降の方法
- ・個別の取組の中でのリスク管理、活動の目標設定

④結果等

- ・からだの使い方、声掛けの方法について具体的に助言した。
- ・安全に配慮しながら、友達と一緒にできる遊び、活動について助言した。
- ・訪問以降も、引き続き施設からの相談を受ける環境を作ることができ、施設にとっても良かったのではないかと考える。

(3) 認定こども園（令和7年7月14日実施）

①訪問に至る経過 定期訪問の後、センターからの勧めにより訪問

②園訪問した専門職 公認心理師（市保育支援課障害児保育指導員）

③施設が希望した支援の内容

- ・集団に入りづらい子への対応について
- ・歩行が気になる子への対応について
- ・遊びが広がったり深まったりしない子への対応について
- ・先生の指示の意図が伝わりにくい子への対応について

④結果等

- ・対応については、理解と支援の視点で所感を伝えた。また、状況を聞きつつ、今後の方向性について意見交換を行った。

(施設の感想)

- ・園生活を知っており、かつ専門性の高い人に来てもらい助かった。

(4) 認定こども園（令和7年7月15日、9月25日実施）

①訪問に至る経過 定期訪問の中で専門職の派遣を決定

②園訪問した専門職 公認心理師（市保育支援課障害児保育指導員）

③施設が希望した支援の内容

- ・集団に入りづらい子についての必要な声掛け等について

④結果等

保育している様子を見た後、子ども同士の関係性やこれまでの状況をふまえながら、集団づくりと個別対応の両方の視点で押さえないポイント等について助言した。

(5) 認定こども園（令和7年8月8日実施）

①訪問に至る経過 専門部会開催後、センターからの勧めにより訪問

②園訪問した専門職 公認心理師（府こども発達支援センター）

③施設が希望した支援の内容

- ・集団活動の流れに乗りにくい子やこだわりが強い子の保育について

④結果等

保育している様子を見た後、行動の分析、発達の見立て等の見解を話し、今までの保育の方法を尊重しつつ、異なる視点での見方や方法のバリエーションを広げるような助言をした。

(6) 保育所（令和7年8月26日、9月1日実施）

①訪問に至る経過 園からの電話相談により訪問

②園訪問した専門職 8/26 指導主事（市教育支援課）、9/1 公認心理師（府こども発達支援センター）

③施設が希望した支援の内容

- ・友達関係のトラブルによる登所しぶりの子の対応について

④結果等

友達関係のトラブル時の対応方法や、保護者への支援も必要であることから、園との信頼関係を築けるような保護者への声掛けの方法等について助言した。

(7) 認定こども園（令和7年9月4日実施）

①訪問に至る経過 専門部会開催後、センターからの勧めにより訪問

②園訪問した専門職 発達相談員（市保健推進課）、公認心理師（市保育支援課障害児保育指導員）

③施設が希望した支援の内容

- ・かみつきがある子がいるクラスや、多動の子がいるクラスの保育について

④結果等

保育している様子を見た後、担任の先生から普段のクラスでの様子等を情報共有し、子どもの見立てや対応について助言した。

2 センター職員の訪問実施状況

(1) 訪問施設数（令和7年10月23日時点）

34施設（保育所12、認定こども園14、幼稚園8）

(2) 訪問時に出た意見等（発達・子育て支援関連）

- ・保護者に療育施設を勧めることなどについて、伝え方等が悩ましい。
- ・保護者が行政に相談せずに療育施設に申し込むケースがあり、園としては把握しづらい。そのため、今後どのようにつなげていけばよいか分からない。
- ・加配について、対象児の卒園や転園もあるため、専門性に長けた人を長期ではつけられない。
- ・移行支援シートは作成したことがない。保護者から希望があったときのみだと思っていた。
- ・教育コーディネーターを配置しているが、発達の専門家ではないため、内容によっては保健師等に相談したいこともある。

来年度の研究・研修の方向性

1. R7研修参加状況について

No.	月日	分野	テーマ	形式							講師	参加人数	保・こ					療育
				講演・解説	ビデオ視聴	報告実践	実技	授業公開	協働	幼								
										公			民	公	私			
1	5/20	教育・保育の質の維持・向上	センター開設記念 基調講演 「ともに生きて ともに育ち ともにつながる」	○	○	○				○	佐川 早季子 京都教育大学教育学部幼児教育科 准教授	33	6	12	1	2	9	3
2	5/27	保幼こ小連携	「1年生の教室環境を親て学び合う」	○	○	○				○	幾馬 礼奈 京都府山城教育局指導主事	22	2	9	1	2	8	0
3	6/23	保幼こ小連携	「宇治市のめざす教育・保育」 【管理職研修講座(学校教育課)と合同開催】	○	○	○				○	乳幼児教育・保育支援センター長 教育総合推進センター長 宇治市立岡屋小学校長	49	6	11	1	2	19 10	0
4	6/26	教育・保育の質の維持・向上	往還型研修Ⅰ 「子どもと 共につくる 教育・保育 とは」 【ひがしうじ幼稚園】	○		○		○		○	佐川 早季子 京都教育大学教育学部幼児教育科 准教授	19	5	7	1	1	5	0
5	7/4	発達・子育て支援	「不登校の実態から ～乳幼児期にできること～」	○		○				○	植 えり 地域支援センター「サポートJOY0」 地域コーディネーター 宇治市教育支援課指導主事	19	3	7	1	2	3	3
6	7/11	保幼こ小連携	「スタートカリキュラムの改善Ⅰ」 【宇治市小学校教務主任会研修会と合同開催】	○		○				○	幾馬 礼奈 京都府山城教育局指導主事	36	0	14	1	1	20	0
7	7/15	発達・子育て支援	「宇治市の フォローシステムについて学ぶ」	○						○	宇治市保健推進課発達相談員 宇治市学校教育課指導主事	17	3	10	1	1	0	2
8	7/28	保幼こ小連携	「育ちと学びをつなぐ」 【学力向上研究研修講座(学校教育課)と合同開催】			○					令和6年度宇治市教育研究員 ・授業づくり研究部 ・幼小中学びに向かう力研究部	52	0	6	0	1	31 14	0
9	8/1	発達・子育て支援	「特別な配慮を要する子どもへの 切れ目ない支援について ー移行支援シートー」	○			○			○	宇治市特別支援教育推進委員	21	3	12	1	2	2	1
10	8/19	教育・保育の質の維持・向上	「子どもが主体的に 絵本に親しむための環境とは」	○			○			○	西村 恵里香 東宇治図書館主任(図書館司書・絵本専門士)	16	3	10	1	1	0	1
11	9/2	発達・子育て支援	「0～1歳頃の子どもの発達について」	○							服部 敬子 京都府立大学公共政策学部 教授	28	2	13	1	3	1	8
12	9/10	発達・子育て支援	「行動分析とカンファレンス」	○	○	○				○	平松 玲夏 京都府立こども発達支援センター 診療課 作業療法士	20	1	10	1	1	0	7
13	9/17	教育・保育の質の維持・向上	「子どもの主体的な力を育むための 環境とは」 【大谷幼稚園】	○				○		○	長澤 宗一 みのり幼稚園 園長 松井 明恵 こざくら幼稚園 園長	8	0	5	1	2	0	0
14	10/28	教育・保育の質の維持・向上	「素材と出会う・感じる・生み出す」	○			○	○			津田 純佳 アトリエリスタ 京都女子大学客員教授							
15	11/5	教育・保育の質の維持・向上	令和7年度研究園 『小さな発見を意味付けて 大きく育てる教育・保育の創造 ー「じぶん」「ひと」「もの」の発見を通してー』【ひ いらぎこども園】	○		○		○		○	木下 光二 鳴門教育大学大学院学校教育研究科 特命教授							
16	11/17	教育・保育の質の維持・向上	往還型研修Ⅱ 「子どもと 共につくる 教育・保育 とは」 【ひがしうじ幼稚園】	○		○		○		○	佐川 早季子 京都教育大学教育学部幼児教育科 准教授							
17	11/20	保幼こ小連携	「スタートカリキュラムの改善Ⅱ」 【宇治市小学校教務主任会研修会と合同開催】	○						○	幾馬 礼奈 京都府山城教育局指導主事							
18	11/28	発達・子育て支援	「インクルーシブ教育」 【多様な学びの場創造事業(学校教育課)と合同開催】	○		○		○		○	星川 涼華 京都府立宇治支援学校 校長							
19	12/11	発達・子育て支援	「保護者支援について」	○			○			○	宇治市保健推進課発達相談員							
20	12/25	教育・保育の質の維持・向上	(仮)「外国籍の子どもの育ちと学びを 支える学級づくり」【大久保保育所】	○				○		○	塘 利枝子 同志社女子大学現代社会学部 現代こども学科 教授							
21	2/2	教育・保育の質の維持・向上	往還型研修Ⅲ 「子どもと 共につくる 教育・保育 とは」 【ひがしうじ幼稚園】	○		○		○		○	佐川 早季子 京都教育大学教育学部幼児教育科 准教授							
22	2/16	保幼こ小連携	「実践から学び合う」 【各架け橋ブロックの取組報告】	○		○				○	古賀 松香 京都教育大学教育学部幼児教育科 教授							
合計												340	34	126	12	21	98 24	25

(参考) R6研修参加状況

No.	月日	分野	テーマ	形式						講師	参加人数	保・こ		幼		小	療育
				講演・解説	ビデオ視聴	報告実践	実技	公開授業	グループ			公	民	公	私		
1	5/28	教育・保育の質の維持・向上	「非認知能力の育ちにつながるアタッチメント（愛着）」	○		○			○	佐川 早季子 京都教育大学教育学部幼児教育科准教授	34	4	13	5	2	6	4
2	6/6	発達・子育て支援	「保護者の気持ちに寄り添う相談」	○					○	保健推進課発達相談員	26	2	11	4	3	4	2
3	7/16	発達・子育て支援	「宇治市のフォローシステムについて学ぶ」	○					○	保健推進課発達相談員	24	5	11	2	2	1	3
4	7/22	教育・保育の質の維持・向上	「創造的な表現活動」	○			○			津田 純佳 府幼児教育アドバイザー	21	3	10	3	1	3	1
5	7/30	保幼こ小連携	「保育要録・指導要録の書き方と活用の仕方」	○					○	天花寺 裕 学校教育課 副課長(指導主事)	61	7	21	5	7	21	0
6	8/23	発達・子育て支援	「5歳ごろの子どもの発達と集団づくり」	○						服部 敬子 京都府立大学公共政策学部教授	31	4	9	5	4	1	8
7	9/2	教育・保育の質の維持・向上	「身体表現遊び」	○			○			本山 益子 府幼児教育アドバイザー 京都文教大学 こども教育学部教授	14	2	6	2	1	2	1
8	10/24	教育・保育の質の維持・向上	「絵本ではぐくむ子どもの感性」	○						西村 恵里香 東宇治図書館主任 (図書館司書・絵本専門士)	16	2	8	3	0	3	0
9	11/12	保幼こ小連携	「子どもの主体性をはぐくむ環境構成や教師の関わり方とは」 (南部小学校)	○		○		○	○	小西 菜穂子 京都府山城教育局 指導主事	33	1	9	4	2	17	0
10	11/27	教育・保育の質の維持・向上	「遊びや生活の中で、主体的に人やものと関わろうとするようになるための環境とは」 (東宇治幼稚園) 【京都教育大学協働研修と合同】	○		○		○	○	古賀 松香 京都教育大学教育学部幼児教育科教授	43	1	6	11	4	20	1
11	12/19	教育・保育の質の維持・向上	「ゆっくり じっくり 子どもの心を育む環境や保育者の関わりとは」 (明星っ子こども園)	○				○	○	高倉 明子 明星っ子こども園 副園長	18	1	10	1	4	1	1
12	1/21	教育・保育の質の維持・向上	「子どもの主体的な活動の積み重ねと小学校教育へのつながり」 (こざくら幼稚園) 【ECEQ®と同時開催】	○				○	○	長澤 宗一 ECEQ®コーディネーター 学校法人心華学園みのり幼稚園長	8	0	6	1	0	1	0
13	2/21	保幼こ小連携	「幼児教育と小学校教育の接続期力リキュラム」	○		○			○	古賀 松香 京都教育大学教育学部幼児教育科教授	60	7	18	4	7	21	3
14	3/3	発達・子育て支援	「支援者を支援するということ～ピアビジョンを通して～」	○			○		○	古田 直樹 保健推進課発達相談員	12	0	3	0	0	2	7
合計											401	39	141	50	37	103	31

(1) 研修実施にあたっての改善項目

- ・ 往還型研修の実施
 - 研修で知識等を習得し、その内容を園(校)内で実践・検証した後、再び研修で実践結果を振り返り議論する等のサイクルを確立することで、実践力の向上・学びの深化・波及
- ・ 「ひがしうじ幼稚園」と連携した実践型研修会の実施
 - 具体的な子どもや保育者の姿、園の環境等を通して学び合い、共に見出したものを各園(校)の実践に活用
- ・ 対象者(教務主任・3歳児担任経験者等)や時期を限定した研修会の実施
 - 研修成果の明確化や協議の深化
- ・ オンデマンド配信の活用
 - 研修内容について、施設類型問わず共有したい情報については、研修参加の有無に関わらず、周知・理解の定着
- ・ 福祉部局と教育部の垣根を越えた研修(管理職研修・教育研究員の実践報告・インクルーシブ教育の公開授業)の実施
 - 施設類型を問わず情報共有や学びを享受
- ・ 市立小学校及び幼稚園教諭が、乳幼児教育・保育協働研修会(3時間以上)をした場合、京都府総合教育センター研修講座と同様に単位を認定する研修として、京都府教育委員会に申請
 - 小学校教諭の協働研修会への意欲喚起、人材育成の支援、多忙化への対応

(2) 「今後希望する研究・研修内容」の意見集約 資料4

2. R8の研究事業の方向性 資料5

検討事項・・・形式、全体への還元・普及方法

○研究希望テーマ

区分	テーマ	人数
教育・保育の 質の維持・向上	「主体的な姿」・「主体性をもてる子どもになるには」・「主体的な遊びや学び」・「子ども主体の教育・保育」について	13
	環境構成	10
	子どもへの関わり方、興味・関心への関わり方	8
	素材・教材研究	7
	(年齢に合わせた)表現(製作・絵画・身体表現・絵本)	7
	公開保育・公開授業に基づく実践研究	7
	食育	4
	遊びからの学びについて	3
	教育・保育で大切にすること	3
保幼小連携	保幼小をつなげる・子どもの期待感を高めるための取組・体験	15
	スタートカリキュラム・アプローチカリキュラム	13
	架け橋期のカリキュラム・架け橋プログラム・架け橋期について	4
	幼児期に育まれた力を小学校でどう伸ばすか	2
	幼児期の教育と小学校教育のギャップ	2
発達・ 子育て支援	配慮が必要な子どもへの支援の方法・集団生活について	14
	保護者対応・支援について	12
	支援が必要な子どもの事例研究	7
	切れ目のない支援のための連携・特別支援教育の接続	3

○研修希望テーマ

区分	テーマ	人数
教育・保育の 質の維持・向上	「幼児・児童の主体的な遊び・学び」「子どもの主体性を育てるためにはどうすればいいか」「子ども主体の教育・保育」について	9
	環境構成	8
	施設類型による違い(子どもの過ごし方等)	6
	絵本について	5
	子どもが求める大人の関わり方について	3
保幼小連携	保幼小のギャップをなくすための取組等・連携	15
	スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムについて	11
	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿・5領域について	4
発達・ 子育て支援	支援を要する子ども・グレーゾーンの子どもの関わり方・支援の方法	16
	保護者支援・保護者対応(つなげ方等)	14
	乳児期・幼児期の発達、障害について	10
	移行支援シート・特別支援教育の接続	4
	ケース会議・ケース検討	4
研修方式など	公開保育・公開授業	23
	グループワーク(エピソードの共有含む)	13
	他施設との交流	11
	実技研修(造形、リトミック、表現遊び、絵本読み聞かせなど)	9
	宇治市が行っている発達に関する教室や療育施設の見学	6

形式	個人チーム型	施設単独型	施設連携型
イメージ	○各施設から推薦又は希望された個人がチームを組んで研究 センター	○施設単独で設定したテーマについて研究 センター	○施設連携して連携強化したい分野を研究 センター
研究園・校	民間保育園1・公立保育所5・私立幼1・公立幼1・認定こども園5・小学校6 計19名 【往還型研修参加者】	ひいらぎこども園	南部小学校【アドバイザー校】 (かおり幼稚園・ひがしうじ幼稚園)
研究テーマ	『子どもと 共につくる 教育・保育とは』	『小さな発見を意味付けて大きく育てる教育・保育の創造』 ー「じぶん」「ひと」「もの」の発見を通してー	『育ちと学びをつなぎ主体的に考える児童の育成』 ～自立心・自己肯定感及び共同性に視点をあてて～ (幼小接続の視点を大切に、幼児期から切れ目ない発達に沿った学びの育成を図るための授業・環境づくりについて研究する)
全体への還元・普及方法	○第4・16・21回協働研修会 ・公開保育【往還型研修参加者のみ】 ・実践報告【往還型研修参加者のみ】 ○研修通信の発行	○第15回協働研修会 ・公開保育 ・実践報告 ○研修通信の発行	○第2回協働研修会 ・1年生の教室環境公開・実践報告 ○第22回協働研修会 ・実践報告 ◆山城地方「育ちと学びをつなぐ」連携会議 ・実践報告 ◆山城地方幼小接続推進研修会 ・実践報告